

みんなの未来予測を未来に送ろう

めあて

それぞれの役目を果たして、パネルディスカッションを成功させよう。

第一回パネルディスカッション

分野【ロボット】

司会 ○○○○
□□□□

パネラー

○○○○ 「 項目 」
○○○○ 「 項目 」
○○○○ 「 項目 」

注) 授業が始まる前に板書を終わておく。各分野の内容は、そのグループの司会に書かせておく。

「パネルディスカッション」の手順

- 討論の内容とパネラーのしようかい… (司会)
- 各パネラーの意見発表… (パネラー)
- パネラーによる討論… (パネラー)
- 討論内容の要約… (司会)
- フロアからの質問と応答… (フロア)
- フロアも加わっての全体討論… (全員)
- 討論全体のまとめ… (司会者)

討論会は1グループについて1単位時間が限度であると考えます。パネルディスカッションの時間は指導書では3時間計画になっていますが、学級の実態に合わせて時数の確保を行うようにしたほうがよいでしょう。

9・10 / 11 時間目 指導略案 ※パネルディスカッションの時間はこの略案及びワークシートを使う
使用するワークシート：⑨及び進行表

活動のねらい

それぞれの役目を果たしながら、パネルディスカッションに参加することができるようにする。

◆ 事前に、本時のワークシートは児童に渡しておき、発表者と未来予測の項目を書かせておくことよい。

1 前時の振り返り及びめあてを確認する。

- ① パネルディスカッションの手順を確認し、話合いに意欲をもたせる。
- ② めあてを読ませ、役割について注意すべき点を確認させる。
- ※ 司会は、進行表に沿って進めさせる。
- ※ パネラーは、フロアや他のパネラーに分かりやすく話すようにさせる。
- ※ フロアは、四つのポイントについてメモをさせ、分かりやすい発表を考えさせながら聞くようにさせる。

2 パネルディスカッションを行う。

※ 意見交換が進まなかったり、不適切な方向に話し合いが進んだりした時などは、司会に助言するなどして教師が介入する必要がある。

評価 未来の生活に興味をもち、それぞれの役目を果たしながらパネルディスカッションに参加している

自分の立場を明確にして話したり、相手の立場を考えながら話を聞いたり質問したりすることができる。

3 パネルディスカッションを振り返る。

- ① ワークシート⑨を書く。
- ・ めあてに対しての自己評価を行わせる。
- ・ 友達のよいところを具体的に書く。
- ② 書いたことを発表させる。
- ※ ここでの発言が未来予測の清書につながるように、内容のよさを取り上げ、称賛する。

パネルディスカッションの時間を30分程度にし、振り返りの時間を十分に確保してほしいと思います。討論会での吟味が最終目的の「未来予測を常に向かわせる方向にすることが大切です。」

4 次時の予告をする。

- ◆ 次のグループの紹介を行う。
- ◆ 次時が未来予測を書く活動であれば、その旨を伝える。